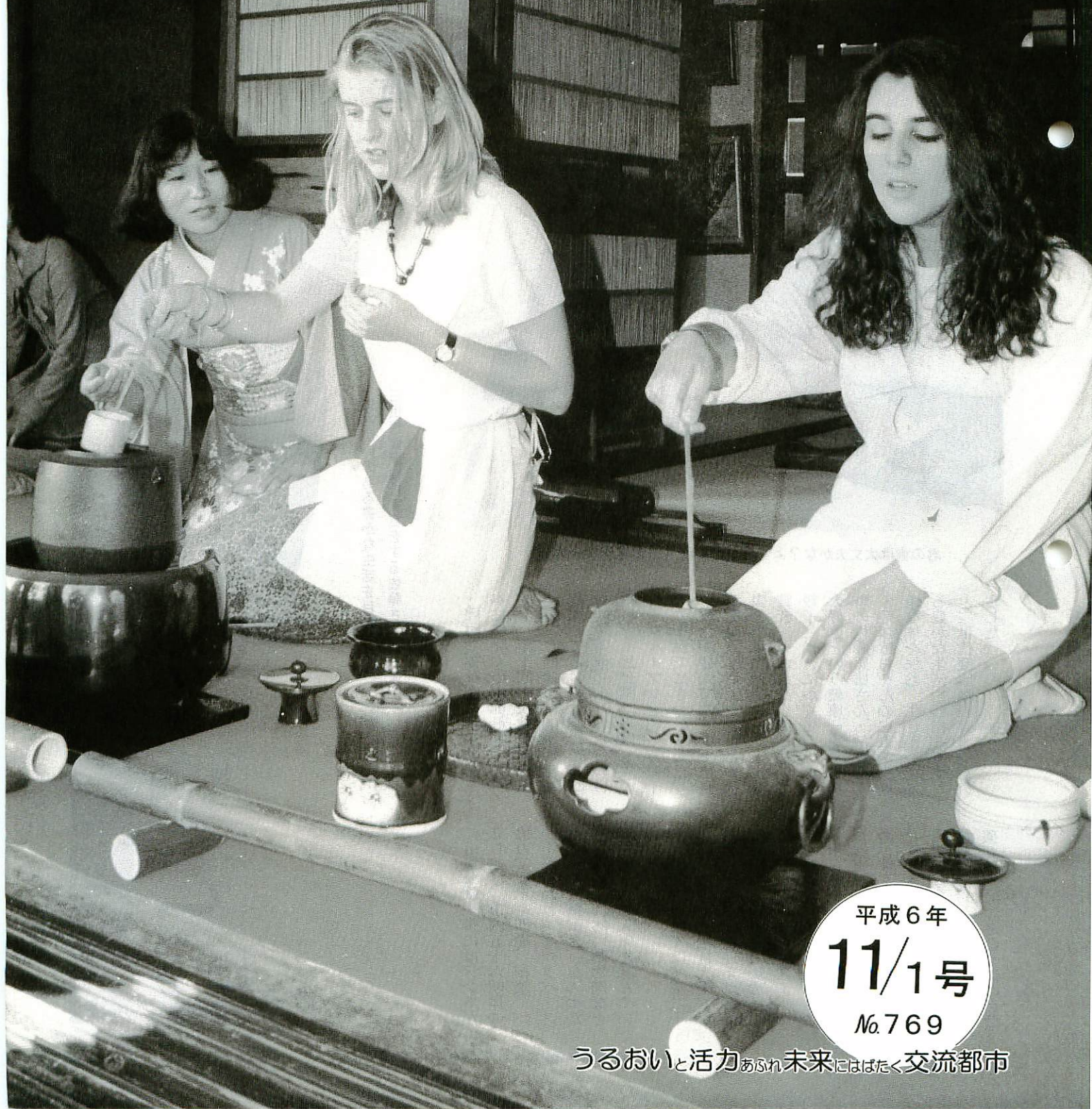


市報

とく



平成6年

11/1号

№.769

うるおいと活力あふれ未来にはたく交流都市

第10回市民健康福祉まつり

一万二千人が

つどろ

習字コンクール入賞者

旭小一年ながのいつき
まち

旭小四年 赤司 篤政
太陽

旭小二年 原 恵亮
きげん

旭小五年 篠原 里美
秋晴

旭小三年 畑島由佳
青空

旭小六年 赤司 尚江
健康都市

習字コンクールには小学生のみなさんから千二百九十九点の作品が寄せられ、入賞作

品は十月十八日から十三日間市立図書館に展示しました。
【一年生】金賞 永野樹(旭



君の歯は大丈夫かな？よくみがいてね（歯の健康コーナー）

「生きがいのある豊かな生活を目指します」
三世代健康福祉宣言をする佐藤さんご一家



健康、福祉、スポーツを三本柱に開く市主催最大のイベント「第10回市民健康福祉まつり」。今回は市制四十周年を記念して「NHK健康フェア」も同時開催、十月十六日の日曜日、市民公園一帯は家族づれやグループなど約一万三千人の市民でにぎわいました。

総合開会式では、山下市長が健康家庭百七十三世帯の代表と小学生習字コンクール入賞者三十六人を表彰。続いて親子三代とにかく走ることが大好きという健康一家、神辺町の佐藤照雄さん・敏秋さん・香奈恵ちゃんの三人が「健康な体を保ち、生きがいのある豊かな生活を目指します」と三世代健康福祉宣言を行いました。

市民公園一帯にはテントが立ち並び、市内五十六団体の協力で展示や即売、相談、バザーが行われ、キックベースボールや大綱引き、魚のつかみどり、ふれあい動物園などが子供たちの人気を呼んでいました。

市民文化会館では「第二十八回鳥栖市老連福祉大会」が開かれ、九十歳を迎えた会員のお祝いや功労者表彰のあと、各地区ごとに趣向を凝らした出し物が場内を沸かせました。市民体育館で開かれたNHK健康フェアには五百人がつめかけ、講師の話に熱心に耳を傾けました。山崎幹夫千葉大学薬学部教授は「薬にはそれぞれ目的と有効量がある。薬と上手につき合うには自分

小)▽銀賞―村岡理紗(同)
 豊増ゆき(同)▽銅賞―古賀
 理恵子(同)早田聡子(同)
 立石由里香(麓小)【三年生】
 金賞―原恵亮(旭小)▽銀賞
 ―豊増一彦(同)河合智也(同)
 ▽銅賞―大石汐莉(同)緒方
 智博(同)下橋亨(同)【三
 年生】金賞―畑島由佳(旭小)
 ▽銀賞―櫻井姿織(鳥栖小)
 真田あゆみ(旭小)▽銅賞―
 江崎朱美(同)水城千賀(同)
 横尾裕一(同)【四年生】金
 賞―赤司篤政(旭小)▽銀賞
 ―陣内美加(同)永野希(同)
 ▽銅賞―下橋佑亮(同)江崎
 由以子(同)荒川綾香(鳥栖
 小)【五年生】金賞―篠原里
 美(麓小)▽銀賞―原哲信(旭
 小)渡辺有紀(麓小)▽銅賞
 ―河合仁志(旭小)高木智子
 (同)木村佳世(同)【六年生】
 金賞―赤司尚江(旭小)▽銀
 賞―緒方美希(同)豊増美奈
 子(同)▽銅賞―廣松知美(同)
 古澤奈保子(同)江崎香織(同)

健康家庭のみなさん

国民健康保険健康家庭は過
 去三年以上(特別表彰)または
 過去一―二年間(普通表彰)、
 世帯全員が健康で保険の給付
 を受けず、しかも国民健康保
 険税を完納されている世帯で、
 今年は百七十三世帯が表彰さ
 れました。なお、普通表彰は
 世帯の人数により一級(五人
 以上)から三級(一人または
 二人)までに分かれています。
 氏名は世帯主名。

◇特別表彰(二十九世帯)
 【轟木町】龍頭ヨシ子【元町】
 久光サトエ 平井幹敏【本町】
 水田秀子【本鳥栖町】白鳥静
 江【藤木町】野下ツルヨ【今
 泉町】諫山憲次 横尾正男【真

木町】井上哲夫【本通町】吉
 見カツヨ【古野町】江頭藤雄
 上畠頼 権藤富士子 西山チ
 トセ【土井町】枝松アゲル【宿
 町】森一強【田代上町】甲木
 誠一【田代外町】牟田君代【神
 辺町】成澤マツノ【浅井町】
 飯田博成【飯田町】大石ミチ
 エ【姫方町】望月均人【牛原
 町】門司正也【平田町】野田
 莫子【立石町】栗山繁 松本
 義廣 米倉今朝一【幸津町】
 吉田功【下野町】久富和子

◇一級表彰(該当なし)
 ◇二級表彰(二世帯)【江
 島町】有馬孝幸【儀徳町】前
 田晃典

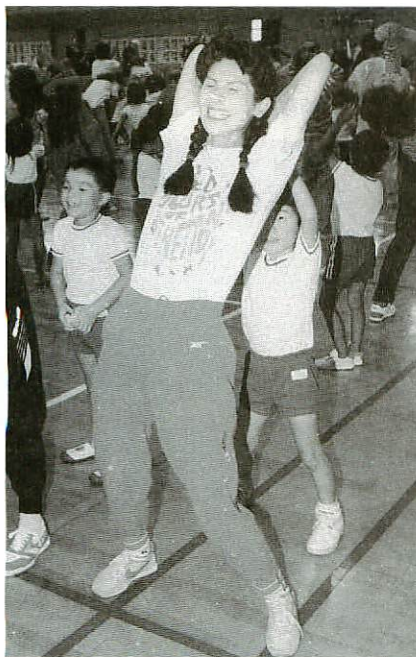
◇三級表彰(百四十一世帯)



ビンゴゲームでお米が大当たり(米消費拡大コーナー)



金魚1,500匹を追いかける子供たち(魚のつかみどり)



お母さんがんばって(親子ふれあい体操)

の体質と薬の性質をよく理解し、服用のルールを守ることが大切」と力説、人体図などを使って分かり易く、「くすりの常識」について講演。

続いて将棋の内藤国雄九段が「健康の大敵はストレス。年をとればだれでも病体になるが、病気になってはいけない。一回きりの人生、のびのびと明るく過ごしたいものだ」と自説を披露、ヒット曲「おゆき」を歌って拍手を浴びました。この後「五面指し」で市民と対局。内藤九段をうならせる妙手に、見学者がどよめく一コマもありました。

「さわやかシェイプアップ」では馬渡照代大東文化大学助教授がだれでも手軽にできるシェイプアップ体操を指導。参加した女性たちは思いっきり体を動かし、文字どおりさわやかな汗を流してシェイプアップを楽しみました。

まつり会場内で行った「健康クイズ」には三千七百九十八人の方が応募され、このうち全問正解者は千八百二十三人でした。厳正な抽選の結果、神辺町の宮原達也さんに二十万円相当の羽毛ふとんが当たったのをはじめ、五十人の方に地元企業の協賛による豪華賞品をお贈りしました。クイズの正解は次のとおりです。

Q1、適量のお酒は動脈硬化の予防に役立つ(ア)はい

Q2、歳をとればだれでもボケる(イ)いいえ

Q3、三天成人病のうち死亡者が一番多いのは脳卒中である(イ)いいえ

Q4、昼間食べるより夜食べるほうが太る(ア)はい

Q5、敷き布団は柔らかければ柔らかいほどよい(イ)いいえ

【轟木町】寺崎善利【元町】澤野博子【秋葉町】古賀忠秋【本町】石丸伸芳 陣内勇 豊島恒文 前田良子【本島栖町】大曲洋子 佐藤砂江 篠原英俊 竹野ハルエ 榎静子 高木康弘【藤木町】石丸延子 居川修 榎藤ヒサヨ 豊川泉 日山裕正 松隈眞弓 八兄静雄【今泉町】倉成正之扶 緒方力チエ 緒方忠男 古賀保正 末次淨治 田島省三 和田佳津子 竹田宏 青沼幸子 岩戸好子 戸渡政彦【真木町】齊藤政隆 齊藤勝敏【東町】吉田文彦 野口洋 原孝【本通町】小崎照美 龍頭直【古野町】赤司忠人【鎗田町】谷口壽満子 中山興治 春田良弘 八雲卓爾【布津原町】尊田義雄 藤田君子 迎清彦 高田幸代【京町】栗原嘉大 山内敏江【宿町】池田力 木下英時 佐藤美代 原田ツキ 平川百合子 平川侃 池田ユミ【田代昌町】佐藤英世 白水義登 藤田タツ子【田代新町】原秋伸【田代外町】鹿毛キミエ 徳淵秋義 平田勝巳 福永昌子【田代大官町】窪盛雄【田代本町】天野博之【永吉町】黒田政義 長栄次【今町】西依松子 松永五郎【神辺町】成富孝 白水章弘 平山昭男

【萱方町】川越ウエノ 吉田トクヨ 江永次男【古賀町】伊藤靖幸 古賀真一 三宅徹之中村學【加藤田町】前川サイ宮崎嘉子【浅井町】田中仁【酒井西町】河内弘美 中島慶幸【曾根崎町】松雪三義 榎林千恵子 山内直文【水屋町】重野正人【飯田町】古賀正孝 高尾清之 高尾ハルヨ【原町】川原勤 酒井克実 榎三郎 毛利弘【姫方町】酒井忠敦 前間次郎【桜町】古賀馨 原吉長【松原町】田口陰【蔵上町】飯盛冬雄 牟田和美【養父町】佐々木勝敏 築田一紀 中尾富治 松本京太【牛原町】羽根妙子【山浦町】竹下ツズ子 石丸真弓 永渕傳 永渕シヅエ【山都町】折尾義一 俵武夫【原古賀町】牧瀬吉郎 小原木鶴夫【平田町】西山正廣 有田千鶴子 酒井タマ 福田順子 野口キクヨ【立石町】今村芳二 杉原遼睦 永渕武男 永渕義勝 陣内好則【江島町】野口幸八 上田昭男 濱田光昭 森重貴光 中目芳幸 乾智行【村田町】大野サツヨ 宮本英也 牟田健治郎 森永宏【西新町】中村典子【儀徳町】中村隆男 戸宮秀男 山口香代子【西田町】松永安正 古賀清



内藤九段は「五面指し」で市民と対局



薬の飲み方を分かり易く説明する山崎教授



さわやかな汗を流して体も心もリフレッシュ



シェイプアップ体操を指導する馬渡助教授ほか

市に寄贈の31点を初公開展示

11月6日(日)から「古沢岩美絵画展」

日本シニールレアリズムを代表する鳥栖市出身の画家、古沢岩美画伯が今回、市に寄贈された絵画三十一点を初公開展示する「古沢岩美絵画展」を十一月六日(日)から同十三日(日)までの八日間(ただし七日(月)は休館日)午前十時から午後五時半まで市立図書館二階展示ホールで開きます。入場は無料。古沢画伯の素晴らしい作品の数々をぜひ鑑賞ください。

実主義の開拓者の一人で、日本美術史上に残る名作を数多く制作。八十二歳の今も第

話の世界 反骨の鬼才——古沢岩美展——オープンを前に鳥栖市に立ち寄られ、鳥栖市民栄誉賞を受賞されました。市に寄贈されたのは今年八月に「白い天使」など十四点、十月に「アテネの鳥」など十七点(二十号から百号まで)の合計三十一点です。

佐賀・福岡 県際交流 シンポジウムやサッカーイベント

佐賀・福岡の県境に位置する鳥栖・久留米地域三市五町の広域的交流を図る県際交流事業。十一月十六日と二十三日の両日、鳥栖市と久留米市でNHK大河ドラマの世界を

の名場面集を上映。午後一時半から式典で、二時から作家の津本陽氏による基調講演「戦国時代と北部



津本陽さん



橋田壽賀子さん

古沢画伯は明治四十五年二月五日三養基郡旭村下野(現鳥栖市下野町)に生まれ、旭尋常高等小学校を卒業。日本のシニールレアリズム(超現

鳥栖市花とみどりの推進協議会が行った「花とみどりのまちづくりポスターコンクール」で次のみなさんが入賞されました(応募四百三十五点)。

【小学生・応募二百三十三点】県知事賞 橋本瞳(鳥栖小四年)▽県議会議員賞 支岐早耶佳(同四年)▽市長賞 大石絵未(鳥栖北小六年)▽会長賞 中島愛(田代小五年)▽議長賞 大島まゆみ(鳥栖小六年)▽金賞 長摩祐美(田代小五年)▽銀賞 佐藤潤一(鳥栖小五年) 吉松育美

九州。三時からパネラーに津本氏、脚本家の橋田壽賀子さん、(株)総合ビジョンプロデューサーで大河ドラマ制作に携わった渋谷康生氏、コーディネーターにNHK中田薫アナウンサーを迎えて、シンポジウム「NHK大河ドラマの世界」が行われます。

二十三日(祝)のサッカー交流は久留米市営陸上競技場で。 六(年) 福島華子(鳥栖北小六年) 戸島紀里(同六年) 西山佐和子(若葉小六年) 原千恵子(同五年) 下城美紀(同六年) くめじゅんこ(田代小三年) 【中学生・応募二百二点】 市長賞 上島ともこ(基里中二年)▽会長賞 岡本亜希子(田代中一年)▽議長賞 永田智子(同三年)▽金賞 菊池忍(同二年)▽銀賞 大石舞(基里中二年) 久保由佳(田代中二年)▽銅賞 佐々木美保(同二年) 成富史(同二年) 迫園子(同二年)▽入選 寺山津美由紀(同二年)



80号の大作「アテネの鳥」

入賞おめでとう

花とみどりのまちづくりポスターコンクール

午前九時からPJMフューチャーズによるサッカー教室、正午から佐賀・福岡両県の十二チームによる少年サッカー交流試合が行われます。

シンポジウムは入場無料ですが、入場整理券が必要です。整理券は市役所企画課、商工会議所、市民文化会館、市立図書館、各地区の公民館と老人福祉センターにあります。

七(年) 福島華子(鳥栖北小六年) 戸島紀里(同六年) 西山佐和子(若葉小六年) 原千恵子(同五年) 下城美紀(同六年) くめじゅんこ(田代小三年) 【中学生・応募二百二点】 市長賞 上島ともこ(基里中二年)▽会長賞 岡本亜希子(田代中一年)▽議長賞 永田智子(同三年)▽金賞 菊池忍(同二年)▽銀賞 大石舞(基里中二年) 久保由佳(田代中二年)▽銅賞 佐々木美保(同二年) 成富史(同二年) 迫園子(同二年)▽入選 寺山津美由紀(同二年)

八(年) 高尾純子(同二年) 立石智美(同二年) 飛松ゆかり(同二年) 古賀崇真子(同二年) 高山由香里(同二年) 野下恵(同一年) 船津三幸(同一年) 野口美紗(鳥栖中二年) 羽根京子(同二年) 八坂奈津子(同二年) 多良香子(同一年) 片江未幸(同一年) 松雪未来(同一年) 久保山奈美(田代中二年) 古賀裕子(同三年) 井寺由紀子(同二年) 山津美由紀(同二年)

「鳥栖フューチャーズ」に変更

Jリーグ加盟に向け体制強化

プロサッカーJリーグ入りを目指すPJMフューチャーズの運営会社「フューチャーズ・フットボール・クラブ」(有田平社長)の臨時株主総会が九月二十七日、酒井西町

のホテルビアントスで開かれ、チーム名を「鳥栖フューチャーズ」に、運営会社名を「佐賀スポーツクラブ」に変更することを決めました。

地域密着という観点からチ

ーム名には必ずそのホームタウンとなる都市名を入れ、会社名もそれに準ずる、というJリーグの方針に沿ったものです。「鳥栖フューチャーズ」の「鳥栖」が漢字表記となったのは、ホームタウンとして鳥栖が全国的に知られてほしいという願いがこめられ、「フュー

チャーズ」は未来という意味でJリーグの理念にふさわしいことから決定。また「佐賀スポーツクラブ」は県内全域にわたる出資企業の支援を受けたことと、スポーツ文化の振興という観点から、将来サッカーだけでなく、他のスポーツにも波及するという視点で決まりました。

このほか、総会では県内外からより幅広い支援を得、地域との密着を進めるため、現在の最低持ち株を百株(五百万円)から十株(五十万円)に引き下げる事が決まったほか、企業・団体以外の一般市民なども参加できるように市民持株会を発足させることなどが報告されました。

フューチャーズを応援するサポーターたちは「チーム名に『鳥栖』という文字が入ること、オラがまちのチームとして一層、愛着と親しみがわく」と歓迎しています。



熱狂的な応援をするサポーター(対柏レイソル・博多の森競技場)

ーム名には必ずそのホームタウンとなる都市名を入れ、会社名もそれに準ずる、というJリーグの方針に沿ったものです。「鳥栖フューチャーズ」の「鳥栖」が漢字表記となったのは、ホームタウンとして鳥栖が全国的に知られてほしいという願いがこめられ、「フュー

5日(土)に市民劇団公演

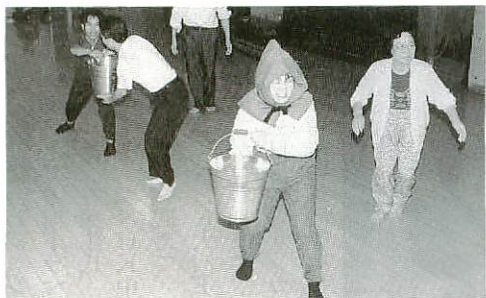
鳥栖市民劇団(江口次郎团长)の第七回公演『悪夢はめぐる五十年——「鳥栖空襲」一〇〇人の霊に捧ぐ』が十一月五日(土)午後七時から市民文化会館で上演されます。

今回は篠原眞さんが原作・脚本を担当。昭和二十年八月から九月にかけての鳥栖町のある町内隣保班を舞台に、鳥山一家の生活を通して、戦時中の人々の暮らし、鳥栖空襲

や終戦を迎えた日の人々の表情などを喜怒哀楽を混じえながら描き出します。

团长の江口さんは「この公演を通して戦争を知らない世代に戦がいかに無意味なものであるか、また二度と戦争を起こさないよう訴えたい」と話します。

団員たちは八月から週二、三回夜八時ごろから十時過ぎまで練習を重ねてきました。



夜遅くまで練習に励む団員のみなさん

本番を目前に控え、最後の練習に余念がありません。

中学生10人が熱弁ふるう

中学生たちが日ごろ考えていることや訴えたいことを発表する「第十六回少年の主張佐賀県大会」が九月二十七日、基里中学校で開かれ、県内二十一校六十七作品の中から三次予選に合格した十人が出場。五分の持ち時間をフルに使って熱弁をふるいました。同大会は昭和五十四年の国際児童年を機に、県立図書館で毎年開かれていましたが、県内の住民や生徒にも中学生が何を考え、どんなことに興味を持っているのかぜひ聞いてもらおうと、三年前から各市町村を巡回して開かれています。



力強い発表に会場から拍手が

出場者は学校や家庭、社会生活の中での実体験を基に、障害を持つ人とのふれあい、友情、国際交流などをテーマに発表。鳥栖市からは黒田竜喜君(基里中二年)が「目は心の鏡」、酒井友季さん(鳥栖中二年)が「ふれあいの中で」のテーマで発表しました。

会場に集まった父母や基里中の生徒たちは、出場者の力強い発表に耳を傾け、大きな拍手を送っていました。

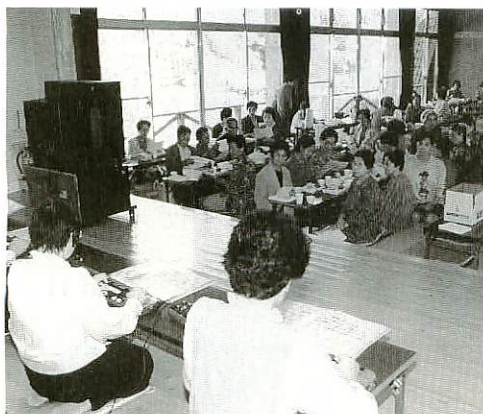
基山分署が起工

来年4月の稼動目指す

鳥栖・三養基地区消防事務組合消防署基山分署の起工式が九月二十一日、基山町の建設予定地で行われました。

関係者約六十人が出席して、工事の安全を祈願したあと、同組合管理者の山下市長が、「基山分署は長年、町民のみなさんが待ち望んでいたもので、広域消防体制の中で東部地区の拠点になるものと期待しています。完成後は、住民一人ひとりが安心して暮らせる地域づくりと、親しまれる消防署になるよう努めていきたい」とあいさつしました。

基山分署は鉄骨造り二階建て、延べ床面積五百九十五・五平方メートル。自家発電設備やOA室などを備えているほか、水そう付消防自動車、救急自動車、連絡自動車と署員十数人を配置。来年四月の稼動を目指しています。総事業費は約一億八十万円。



お互い会話も弾んだ交流会

鳥栖市と三養基郡の一市五町で発足。翌四十八年には北茂安町に西分署が設置される中、基山分署建設は当初からの懸案となっていました。近年、けやき台などの大規模住宅団地の誕生や工場の立地で人口が急増したほか、鳥栖北部丘陵新都市開発事業が今後さらに進むことなどか



人口増などにより、今回建設される基山分署完成予想図

ら、今回建設に着手することになったのです。

ふれあい地域福祉講座

田代地区34人が地域福祉学ぶ

地域福祉の輪を広げる「ふれあい地域福祉講座」が十月六日から同二十七日までの毎週木曜日、計四回にわたって田代公民館で開かれました。

講座には田代地区の主婦や昨年のボランティア講座の受講生など三十四人が参加。一回目は社会福祉協議会が進める「ふれあいのまちづくり事業」や住民参加型の在宅福祉サービスについて説明を受けたあと、車いすに乗った方への援助のしかたなどを学びました。目の不自由な方を誘導するガイドヘルプのしかたについて講師を務めた筑紫野市ガイドボランティア「道しるべ」代表の原清女さんは「過保護はダメですが、適切な状況説明などで相手に不安感を抱かせないことが大切」と説明。参加者は誘導する側とされる側に分か



狭い通路での誘導のしかたを学ぶ参加者

便りを送るお年寄り招き交流

一人暮らしのお年寄りに便りを送って励ますボランティアグループ「ふみの会」(宮光代会長)が十月七日、手紙を送っているお年寄り三十人をとりこえ荘に招いて交流会を開きました。

ふみの会では、会員二十五人が市内のお年寄り約百人を対象に二か月に一回、その時々のできごとなどをつつった便りを送っています。

ほとんどの会員とお年寄りはこの日の交流会が初対面。お互いに自己紹介をしたあと、湖上流大正琴鳥栖教室のみなさん四人が特別参加して大正琴を披露したほか、昼食や歌、会員手作りのティッシュケースをプレゼントしてお年寄りたちをもてなしました。

結成時から活動する内田絃子さん(基山町)は「返事をもらって、こ

ちらがボランティアをしてもらっているみたいでたいへん楽しいですよ。基山町には、まだこうしたグループがないので、ここで勉強してぜひ広げたい」と話します。

また、手紙を受け取っている田中ヒサエさん(元町)は「時事問題から季節のことなどいろいろ書いて送っていたら、手紙の来るのをまだかまだかと楽しみにしています。人と話す機会の少ない私たちにとって、本当に心強いですね」と喜んでいま

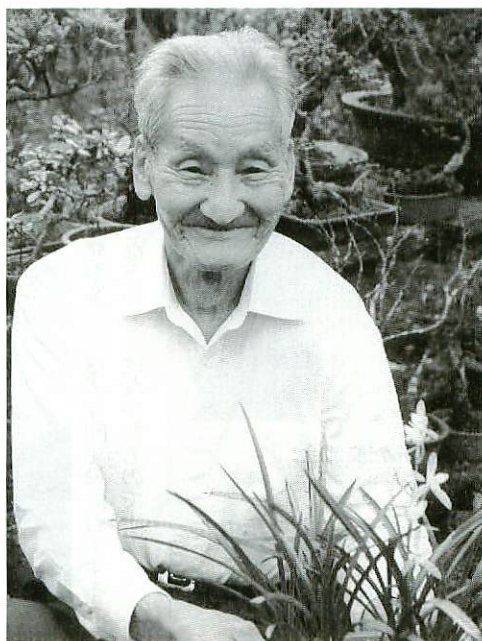
トビックス

第一回佐賀シニア大賞を受賞

内堀 隆介さん(75歳、牛原町)

「今は年金をもらう身。ほかの人に園芸の楽しみ方をわかってもらえれば、少しでも恩返しになると思って…」

長い人生経験を生かしてボランティアや地域活動などでいきいきと活躍しているお年寄りを顕彰し、新しい高齢者



の生き方を探ろうと、県長寿社会振興財団が今年から設けた「佐賀シニア大賞」を受賞しました(県内で三人)。

旧国鉄を退職後、仲間と作った「園芸友の会」と市花とみどりの推進協議会の会長を務め、月十日

程度は講習会などへ技術指導に出向くほか、七年前から花や木、野菜などについて

て書いた資料を作り、月一回会員などに配布しています。

「子供のころから植物が好きでした。今でも週一回は近くの山を中心に朝から夕方まで山を歩き、植物を見て回ります。栽培して楽しまれそうなものは採集し、逆に家で

あんひと

こんひと

(27)

です。

庭の鉢物への水やりが日課です。

増やした植物は山の適当な場所に植えてやります。」
自宅ではこうして採集してきた山野草をはじめ、ランやオモトなど百種類を起す植物を栽培、毎朝四時前に起き、犬の散歩と野菜畑の手入れ、

市役所 まつぶ

建設部都市開発課区画整理係

古澤 哲也



区画整理係では、土地の有効利用を図るため、市の中心市街地である鳥栖駅周辺地区の区画整理事業に取り組んでいます。すでに駅東地区では道路や宅地造成に着手。駅西地区でも事業化に向けて、現在計画を進めています。活気あふれる魅力的な街、市の新しい都市拠点づくりを目指してがんばっています。

農業 新時代

◀42▶

「お米テーマに親子で農業体験 消費者の支援で農業の振興を」



稲穂なかに挑戦する子供たち

地域の農業に楽しくふれあい、農業に対する理解を深めてもらう農業体験バスツアー「アグリウォッチングツアー」が十月八日開かれました。

今回のツアーは「お米」をテーマに鳥栖・三養基地区の

小学生とその父母二十組が参加。まず中原町のライスセンターで新米の乾燥作業を見たあと、三島町の今村朝昭さんの田んぼで鎌を使つての稲刈り体験と汎用コンバインによる収穫を見学。参加者は初め

ての稲刈りに「稲株が思ったより切れないで大変だったけど、楽しかった」「生米をかじったらおいしかった」など様々な感想を抱いていました。

会場をとりごえ荘に移し、子供たちは古賀町の仁田サツキさんらの指導で稲穂なかに初挑戦。初めはぎこちなかった手つきも、すぐに要領を得てきれいにでき上がった縄を手にお父さんに見せてやる」と自慢顔。その間、父母らも

農家の主婦でつくる生活改善グループの指導でおいしいお米料理を作り上げ、全員で昼食後「お米クイズ」でお米についての総まとめをしました。ツアーを企画した鳥栖農林事務所の城戸剛農政課長は「参加者に郷土の農業に愛着を持つてもらえれば、農家の励みになります。これからの農業の振興に消費者も一緒に頑張って支援してもらえれば…」と話します。

「水の声」

クロスロードとす観光マツ
プに、九州自然歩道は「鳥栖
市の北側に隣接する基山町権
現山から九千部山頂を経て三
国峠間(約五八六六^{トナリ}、秋に
は紅葉がすばらしい」と紹介
されている。ある日九千部山
―石谷山―御手洗の滝の視察
に出発、先ずは九千部山頂に
立つ。四方に開かれた展望は
何時来てもすばらしい。南北
にひろがる自然林は、九千部

の樹海といわれ、その樹海の
中の九州自然歩道を歩く。
水を育み、小鳥や獣を抱く
林は、紅葉の季節に向かって
爽やかな雰囲気漂わせ、私
たちをあたたかく迎えてくれ
た。松などと違って、他の木
を優しく抱いて共生するとい
うブナの木は、九州自然歩道
のブナ林として有名である。
樹下には、かんあおいの緑が
点々とつながり、どんぐりや

かし、しいの実などが落ちて
いた。また、私が今まで見て
きた中で最も小さな柿の実も、
青さを保ったまま落ちていた。
少年時代に見た小さな山なし
の実などとともに、恐らく野
生の原理ではなかるうか。
石谷山頂に着く。「石谷山
七五四^{トナリ}。山はともだち、と
もだちを大切に」との案内板
に心が和む。小さな山道で、
福岡市から来たという小学生

の二団、長崎から登山中の老
夫婦、地元山男とも言うべ
き先輩などに次々と逢う。ク
ロスロードは山頂にもあった。
御手洗の滝をめざして下る。
鳥の声に混じって、かすかに
聞こえてくるものがある。水
の音であった。能の玉葛に「水
の水上尋ねれば始めは苔の雫
なり」という一節があるが、
それはまさに、九千部の樹々
が育んでくれた水の源点、水

の声であった。ブナの木に耳
をあてて聞いた木の声も神秘
的だった。
水と緑に恵まれ、先人の英
知が加わって確保することが
できた鳥栖市のこのすばらし
い環境を、私たちは永遠に守
り続けなければならない。
流れをくみてその源を尋ね、
源を濁して水の清さを求めて
はならぬと、私は九千部の樹
海の中で教えられた。(山下)

Viva! ビバ スポーツ (39)

バスケット大好き 中高生からママさんまで



幅広いチーム編成が特色の鳥栖クラブのみなさん

長い間にはメンバーも入れ
替わり、チーム存亡の危機に
立ったことも。それらを克
服して、男女とも県大会優勝
や九州大会出場など輝かしい
実績を残しています。
チームのモットーは「バス
ケットを楽しもう」。中高生か
らママさんまで、幅広いチー
ム編成が特色です。練習は毎
週水・金曜日の午後八時から
鳥栖中体育館で。バスケット
が好きな方、いつでも歓迎。

ドリームチーム、NBA、3オン
3、スラムダンク―ここ数年人気
が高まり、ファッションにまでなっ
ているバスケットボール。「鳥栖ク
ラブ」は鳥栖市の一般チームの草分
けとして、昭和三十年代から活動を

続けています。
結成時のメンバーで現在、市協会
理事長の鶴田鉄之助さんは「今のよ
うに立派な体育館もなく、練習場確
保や試合のメンバーをそろえるのに
苦労しましたが、みんなバスケット
が本当に好きでたまらない連
中の集まりでした」と振り返
ります。

きわやかさん (19)

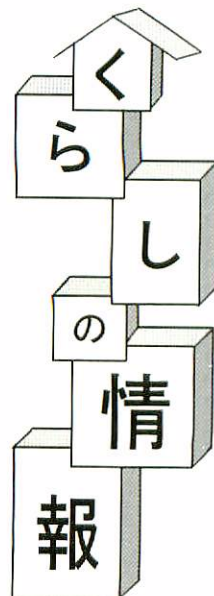
鳥栖工場は大正十三年
曾根崎町に設立。昭和二
十年八月の鳥栖空襲で工
場は全焼し、同年十一月
に現在の原町に移転しま
した。外国産小麦を主体
に年間約七万五千^トの小
麦粉を製造。パン・菓子類
などの原料として九州・
山口一円に出荷するほか、
副産物であるふすま(小
麦の皮)を家畜用飼料と



日清製粉(株)鳥栖工場勤務
育 藤 哲 子さん

(下野町、20歳)

して出荷しています。
私は経理と小麦粉を入
れる包装資材の発注を担
当。入社二年目で随分仕
事にも慣れました。野球
観戦が好きで、年に数回
は福岡ドームに足を運び
ますが、休日はやっぱり
家でゆっくりするのが一
番。鳥栖もショッピング
を楽しめるところがどん
どん増えるといいですね。



一般公開

田代太田古墳 一般公開

国史跡に指定されている田代本町の「田代太田古墳」を一般公開します。

とき 十一月二十七日(日)

午前十時～午後三時

定員 百二十人(先着順)

申し込み 十一月二十五日まで

電話で教育委員会社会教育課(☎3695)へ

福祉

保育所の入所申し込み

来年四月からの保育所の入所申し込みを十二月一日(木)から同十六日(金)まで、福祉事務所と各保育所で受け付けます。現在、入所中の方で来年も引き続き入所を希望される方も改めて申し込んでください。

なお、保育所に入所するに

は、一定の入所基準がありま

すので福祉事務所、各保育所

にある「保育所入所案内」を

参考にしてください。

詳しくは福祉事務所庶務係

(☎3553)へ。

各保育所の定員などは次の

とおりです(◎印の保育所の

み0歳児保育可)。

保育所名	定員	所在地	保育所名	定員	所在地
◎小鳩園	105	本町	◎田代保育園	120	田代太官町
◎白鳩園	105	原町	◎鳥栖双葉保育園	100	浅井町
下野園	60	下野町	◎慈光保育園	90	山浦町
◎いづみ園	90	藤木町	めぐみ保育園	90	村田町
鳥栖園	105	秋葉町			

※0歳児保育はいずれも3人まで

福祉入門教室

社会福祉協議会では、福祉に関心を持っている方や家族

に介護の必要な方を抱え、福祉に関する知識や介護の技術を身につけたい方などを対象に「福祉入門教室」を開きます。

とき 十一月二十日(日)午

前十時～午後三時半

ところ 社会福祉会館

内容 講義「今なぜボランティアか」家庭におけるリハビリテーション、ビデオ上映

住民参加型福祉サービスの説明など

定員 五十人

参加料 無料

申し込み 電話で社会福祉協議会(☎3555)へ。な

お、昼食は準備します

育児と遊び方

巡回療育相談

中央児童相談所では幼児を

対象に、心身の発達状態の悩

みなどの相談や心理判定、遊

び方の指導を行います。親子

で楽しく過ごしませんか。参

加無料。弁当を持参ください。

とき 十一月七日(月)午前

十時～午後三時

ところ 社会福祉会館

問い合わせ 福祉事務所家庭

児童相談室(☎3550)へ

高齢者のための講演会

市では、高齢者の方が健康

で明るく生活できるように、

市内六地区の老人福祉センタ

ーで丸山病院理学療法士・原

直哉先生を講師に「老人のリ

ハビリについて」と題して高

齢者のための講演会を次の日

程で開きます。入場無料。

詳しくは福祉事務所高齢者

対策係(☎3554)へ。

催し

と き	と こ ろ
11月1日◎	中央老人福祉センター
" 15日◎	基里 "
" 29日◎	田代 "
12月6日◎	旭 "
" 20日◎	麓 "
1月10日◎	鳥栖南 "

※時間はいずれも午後2時半～

さわやか販売実習 「鳥栖商デパート」

鳥栖商業高校では体験学習の場として、仕入れから販売まで生徒が企画立案する「鳥栖商デパート」を開きます。

各クラスごとに店舗を設け

レジ打ちから包装まで、実際

に即した販売実習を行います

ぜひおいでください。

とき 十二月三日(土)・四

日(日)、午前十時～午後三時

半

保健

エイズ講演会

鳥栖保健所では佐賀大学保健管理センターの原田嘉文教授を招いて、エイズについて正しい知識を学ぶ「エイズ講演会」を開きます。

とき 十一月十五日(火)午

前九時半～十時半

ところ 鳥栖北公民館

参加料 無料

問い合わせ 鳥栖保健所保健

婦係(☎2161)

ご存じですか

11月17日に駅前駐輪場の放置自転車撤去します

市では、JR鳥栖駅など市

内四駐輪場に放置されている

自転車等を十一月十七日(木)に撤去します。

これに先立ち、十一月四日

(金)午後十時以降、駐輪場に

止めているすべての自転車等

に確認書を取り付けさせてい

たきます。お心当たりのあ

る方は、今すぐ自転車等を引

き上げてください。

『すみか』秋号・発行

郷土誌「栖」の秋号(二十

五号)が発行されました。

主な内容は、特集として▽

「鳥栖空襲」で百人余の死者

▽わたしの八月十五日――の

二本、そのほか▽「自分史」入

選作パート②・三編▽古代か

らのメッセージ(文化財情報)

▽実験考古学「弥生のやきも

の」に迫る▽万葉の植物たち

の連載など、鳥、花、食、べ物

についての楽しい読み物を満

載。一冊千円で、市内書店な

どで発売中です。

水道メーターを 取り替えます

水道課では、計量法に基づ

き有効期限(八年)に達した

水道メーターを九月から十一

月にかけて取り替えています。

◎メーターを取り替える間

十分ほど水が出ません。また、

止水栓などの調子が悪い時は

三十分以上かかる場合があります。



■シルバー人材センター 仕事を引き受けます

(出)鳥栖市シルバー人材センターでは現在、次のような仕事に若干余裕がありますので、お困りの方は電話で同センター(☎☎4147)へ。仕事内容は大工仕事、家の補修、床板・ふすま・障子の張り替え、部屋の清掃・食事の用意・介護などの家事援助サービスです。

■住まいの相談

第1・3水曜日午後1時～4時、市役所商工課内。新築、増改築、資金など。詳しくは市建設課(☎☎3599)へ。

■青年海外協力隊 募集説明会

11月7日(月)午後6時半～9時、はがくれ荘(佐賀市)。派遣のシステムや待遇についての説明や隊員OB・OGの体験発表など。募集人員は全国で約千人。説明会は入場料や予約などは一切不要。お気軽にお問い合わせは県庁国際交流課(☎0952☎7004)。

■職業訓練受講生募集

久留米地区職業訓練協会ではフラワーアレンジメントやワープロタイピング入門、パソコン会計、簿記会計基礎講座など各種教室・講座を開いています。受講料、期間など詳しくは同協会(☎445201)へ。

■国民年金保険料は忘れずに

11月は国民年金制度推進月間です。国民年金保険料の納め忘れはありませんか。納め忘れの期間があると、年金を減額されたり、受け取れなくなることも。納め忘れが心配な方は口座振替を利用すると便利で確実しかも安全です。

秋の全国火災予防運動
十一月九日から同十五日までの秋の全国火災予防運動期間中、鳥栖・三養基地区消防

十五日(火) 本町、本鳥栖町、山都町、山浦団地、田代大宮町
十六日(水) 本通町、松原町、原古賀町、立石町、村田新町、儀徳町
十七日(木) 平田町
十八日(金) 飯田町、養父町、西新町、三島町
二十一日(月) 宿町

場団地
十四日(月) 村田町、競馬場
十五日(火) 本町、本鳥栖町、山都町、山浦団地、田代大宮町
十六日(水) 本通町、松原町、原古賀町、立石町、村田新町、儀徳町
十七日(木) 平田町
十八日(金) 飯田町、養父町、西新町、三島町
二十一日(月) 宿町

ますのでご了承ください。
◎水道料金はメーターを取り替えた時の指針で使用水量を認定し計算します。指針のお知らせとは水量が異なることがあります。
十一月の日程は次のとおりです。詳しくは水道課(☎3538)へ。

十一月一日から同十日まではパートタイム労働期間です。本年度からパートタイム労働に関する総合的な支援機関として短時間労働センターが創設され、中小企業事業主に助成金を支給しています。

個人事業税(第二期分)の納期は十一月十一日から同三十日までです。十一月十日ごろ、県税事務所から送付される納付書により最寄りの銀行、郵便局、農協などで納めてください。

個人事業税(第二期分)の納期は十一月十一日～30日
個人事業税(第二期分)の納期は十一月十一日から同三十日までです。十一月十日ごろ、県税事務所から送付される納付書により最寄りの銀行、郵便局、農協などで納めてください。

署では、危険物施設への立ち入り検査、防火パレード、防火訓練などを行います。
空気が乾燥し、火災が起りやすい季節です。市民のみならず火の元には十分注意して火災予防に努めましょう。

助成金制度に関するお問い合わせは同センター(佐賀市☎0952☎4621)へ。
また、パートタイム労働法などに関する情報は佐賀県人少年室(佐賀市☎0952☎4058)へ。

無料指定ごみ袋は11月末までに引き換えを
市では本年度に限り、本市に住民登録されている一般世帯に指定ごみ袋を無料で配布しています。
第二回目の交換を十一月一日から同三十日まで行いますので、指定販売店へ第二回引換券を持って指定ごみ袋(可燃物用ごみ袋四十枚)と交換してください。

環境
無料指定ごみ袋は11月末までに引き換えを
市では本年度に限り、本市に住民登録されている一般世帯に指定ごみ袋を無料で配布しています。
第二回目の交換を十一月一日から同三十日まで行いますので、指定販売店へ第二回引換券を持って指定ごみ袋(可燃物用ごみ袋四十枚)と交換してください。

無料指定ごみ袋は11月末までに引き換えを
市では本年度に限り、本市に住民登録されている一般世帯に指定ごみ袋を無料で配布しています。
第二回目の交換を十一月一日から同三十日まで行いますので、指定販売店へ第二回引換券を持って指定ごみ袋(可燃物用ごみ袋四十枚)と交換してください。

全九州ペタンク親善交流大会
とき 十一月十三日(日)午前九時半
ところ 市民公園多目的広場

ファミリーハイキング
ブナ林を訪ねて
とき 十一月六日(日)午前八時半
ところ 鳥栖北公民館集合(行き先は九千部山)
参加料 無料(ただし、バス代五百円程度が必要)

スポーツ
ファミリーハイキング
ブナ林を訪ねて
とき 十一月六日(日)午前八時半
ところ 鳥栖北公民館集合(行き先は九千部山)
参加料 無料(ただし、バス代五百円程度が必要)

スポーツ
ファミリーハイキング
ブナ林を訪ねて
とき 十一月六日(日)午前八時半
ところ 鳥栖北公民館集合(行き先は九千部山)
参加料 無料(ただし、バス代五百円程度が必要)

訂正 前号二ページ、寄付の欄「基里中学校育友会(会長・福山慎哉)」は「基里中学校育友会(会長・横山慎哉)」の誤りでした。おわびして訂正します。

参加資格 十八歳以上の方で、三人一チームで申し込むこと
参加料 一チーム千五百円
申し込み 十一月七日までに参加料を添えて、ペタンク協会事務局(教育委員会社会体育課内☎3522)へ
グラウンド・ゴルフ大会
とき 十一月二十三日(祝)午前九時半
ところ 市民球場
参加料 グラウンド・ゴルフ協会会員一人五百円、それ以外の方一人千円
申し込み 十一月十一日までに参加料を添えて、鳥栖市グラウンド・ゴルフ協会(教育委員会社会体育課内☎3522)へ

参加資格 十八歳以上の方で、三人一チームで申し込むこと
参加料 一チーム千五百円
申し込み 十一月七日までに参加料を添えて、ペタンク協会事務局(教育委員会社会体育課内☎3522)へ
グラウンド・ゴルフ大会
とき 十一月二十三日(祝)午前九時半
ところ 市民球場
参加料 グラウンド・ゴルフ協会会員一人五百円、それ以外の方一人千円
申し込み 十一月十一日までに参加料を添えて、鳥栖市グラウンド・ゴルフ協会(教育委員会社会体育課内☎3522)へ

参加資格 十八歳以上の方で、三人一チームで申し込むこと
参加料 一チーム千五百円
申し込み 十一月七日までに参加料を添えて、ペタンク協会事務局(教育委員会社会体育課内☎3522)へ
グラウンド・ゴルフ大会
とき 十一月二十三日(祝)午前九時半
ところ 市民球場
参加料 グラウンド・ゴルフ協会会員一人五百円、それ以外の方一人千円
申し込み 十一月十一日までに参加料を添えて、鳥栖市グラウンド・ゴルフ協会(教育委員会社会体育課内☎3522)へ

高年齢者就職情報
高年齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高年齢者の職業紹介などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みが来ています。詳しい仕事の内容などは同相談室(☎3556)へ。
◎作業員(上峰町)：男四十
五～五十八歳、十三万八千円
◎倉庫作業員(原町)：男
五十～五十六歳、十三万二千
五～十七万六千円
◎守衛(市内)：男二十
六～五十五歳、十二万五千～十五
万円
◎清掃(轟木町)：女二十
五～六十歳、時給七百～七百
二十円
◎店員(大正町)：女二十
五～六十歳、時給六百五十～六
百七十円
◎調理補助(元町)：女二十
五～六十歳、時給六百～八百円

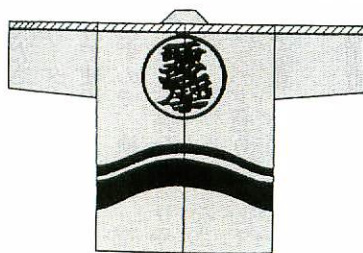
高年齢者就職情報
高年齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高年齢者の職業紹介などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みが来ています。詳しい仕事の内容などは同相談室(☎3556)へ。
◎作業員(上峰町)：男四十
五～五十八歳、十三万八千円
◎倉庫作業員(原町)：男
五十～五十六歳、十三万二千
五～十七万六千円
◎守衛(市内)：男二十
六～五十五歳、十二万五千～十五
万円
◎清掃(轟木町)：女二十
五～六十歳、時給七百～七百
二十円
◎店員(大正町)：女二十
五～六十歳、時給六百五十～六
百七十円
◎調理補助(元町)：女二十
五～六十歳、時給六百～八百円

高年齢者就職情報
高年齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高年齢者の職業紹介などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みが来ています。詳しい仕事の内容などは同相談室(☎3556)へ。
◎作業員(上峰町)：男四十
五～五十八歳、十三万八千円
◎倉庫作業員(原町)：男
五十～五十六歳、十三万二千
五～十七万六千円
◎守衛(市内)：男二十
六～五十五歳、十二万五千～十五
万円
◎清掃(轟木町)：女二十
五～六十歳、時給七百～七百
二十円
◎店員(大正町)：女二十
五～六十歳、時給六百五十～六
百七十円
◎調理補助(元町)：女二十
五～六十歳、時給六百～八百円

高年齢者就職情報
高年齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高年齢者の職業紹介などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みが来ています。詳しい仕事の内容などは同相談室(☎3556)へ。
◎作業員(上峰町)：男四十
五～五十八歳、十三万八千円
◎倉庫作業員(原町)：男
五十～五十六歳、十三万二千
五～十七万六千円
◎守衛(市内)：男二十
六～五十五歳、十二万五千～十五
万円
◎清掃(轟木町)：女二十
五～六十歳、時給七百～七百
二十円
◎店員(大正町)：女二十
五～六十歳、時給六百五十～六
百七十円
◎調理補助(元町)：女二十
五～六十歳、時給六百～八百円

消えゆく民具

—生活用具編—



消防組や職人が着た印半纏

半纏は男女ともに用いる防寒着で、胸紐のあるものとさ

⑤⑦ 半纏・半天

れ、胸紐の無いものを法被といいましたが、その違いもいつの間にかはつきりしないようになってしまいました。
印半纏は主に消防組や職人、商売人が、所属する組合や団体名を染め抜き、組織の区別けとしていました。現在ではほとんど見られなくなり、たまに商店の大売り出しなどでそれこそ「大売り出し」と染め抜いた半纏を見かける程度です。
印半纏の由来は、江戸時代、武家の中間や足軽が半纏の背

に、仕える主人の家紋を染め抜いて着たことに由来すると言われています。
半纏は仕立てが簡単で、短くて活動しやすく、どんな着物の上からも楽に着られるため、庶民の外着として広く普及し、関東地方の一部では嫁入りの際、半纏を羽織る風習もありました。
現在では子守りに使う「ねんね半纏」もほとんど見られなくなり、綿入れ半纏が冬の部屋着としてわずかに使われているくらいです。

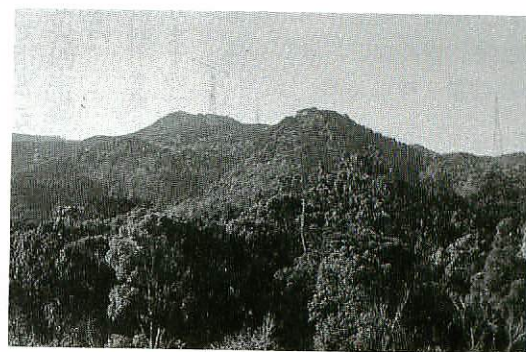
中世山城と筑紫氏

②⑨ 島津合戦 その四

前回に引き続き『筑紫道安筑紫家由緒書』に記された島津合戦の様子を紹介します。

「……谷山金屋左衛門武道之寛巧者にて御座候故、城を丈夫三持堅候、薩摩衆谷山を貴候大將あく祢の播磨、谷山之城主、名字何と申候哉、対談可仕由申候間、出合申候、於此上二者、広門島津二御従候様二、御談合之御使、あくね播磨可仕由申候、則播磨と被迎談、勝尾城伊十院二被成御渡候、肥後国にて替地広門二可進由相定、先筑後之内大善寺二、被成御越候一、薩摩衆出勢之由相聞へ、柴田・

長岡・佐野・牛頸四カ所ヶ衆、我等二被成御付、手前之人数と合三千にて候、此外之半城之衆ハ勝尾二籠申候、……」
この記録の大意は、前半が谷山城を攻めた島津の将「阿久根播磨守」が、谷山城主「金屋左衛門」を通じて広門と和平交渉を行い、筑紫広門に肥後国で替地を与える条件で、勝尾下城となったこと、後半は、島津勢に対し現在の筑紫野市・大野城市にあった筑紫氏の出城、柴田・長岡・佐野・牛頸の兵が、筑紫奥門の指揮のもと、およそ三千で宝満城の守備についた



金屋左衛門が守った谷山城

ことなどです。
広門降伏の条件に肥後国での替地があつたことや、筑紫勢の守備の様子など、あまり知られていなかったことで、興味深いことです。

◆赤ちゃんの写真を募集 「パパ撮って」に掲載する赤ちゃんの写真を募集。写真とひと言を添えて企画課広報統計係(☎853513)へ

パパ撮って ③⑨



中川原哲治さん、洋子さんの長男・二男

創くん・圭くん(8か月、儀徳町)

●ひと言 双子です。未熟児だったので、とにかく元気に育ってね

人口

平成6年10月1日現在
()内は前月との比較

総数 56,367人 (+54)

男 26,922人 (+29)

女 29,445人 (+25)

世帯数 17,700世帯 (-1)

今号の表紙



茶道を通して日本への理解を深めてもらおうと、国際親善ローズアソシエーション(中富文子会長)が10月15日、田代外町の会長宅で県内在住の外国人留学生や市の英語指導助手など45人を招いて「野点の会」を催しました。留学生らはお茶を振るまわれたあと、会員の指導でお点前に挑戦。日本の伝統文化に接しました。



市の花ハナショウブ

市の木もちのき
(クロガネモチ)



市の鳥メジロ

11月の納税

国民健康保険税(6期分)

納期限●11月30日

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合

TEL 84-2500

水道の修繕はすべて上記へお申し込みください